

## 2007 年度第 3 回理事会議事要約

日 時 2007 年 9 月 7 日(金)15:00 ~ 17:20

場 所 精密工学会 会議室

出席者 会 長：下河邊 明 他委任状 7 を含む 2 3 名の理事

### 議 事 1 前回議事録確認の件

- ・ 6 月 15 日開催の 2007 年度第 2 回理事会議事録を承認した。

### 議 事 2 前回総務財務委員会議事録確認の件

- ・ 7 月 20 日開催の 2007 年度第 2 回総務財務委員会議事録を承認した。

### 議 事 3 各部会委員会報告の件

#### 1. 事業部会

##### 1) 以下の 2 件を承認した。

ICMA2008 共催の件

2007 年度秋季大会実行委員 3 名の追加の件

##### 2) 以下の 4 件の報告があり了承した。

##### 国際交流委員会関連

- ・ 同委員会の規則について規則を見直し、他の実態のない規則は整理する。
- ・ ASPEN の将来については、学会連合的なものとする方向で対応する。また 2009 年の日本における同国際会議は本部の支援のもと九州支部で開催を準備する方向で検討する。
- ・ ICPE2008inASPE については、JSPE としては Keynote スピーチを選定しそれにマッチしたセッションを提案して行くこと、講演者は ASPE の募集者の中から選定するなど日本からの講演者に偏らないことを考えて協力する。

第 323 回講習会の実施結果と今後開催予定の「基礎から学ぶ 3 次元 CAD を活用したモノづくり（実習付）」および「これでわかる『ナノインプリント』のすべて！！」の紹介があった。

2007 年秋季大会(旭川)の準備状況および 2008 年春季大会(明治大)の第 2 回実行委員会開催(8/2)について

日本工学会の CPD 協議会について現況が報告され、同協議会の分科会への参加の可否および CPD 協議会立ち上げ中の機械系関連学協会 CPD 連絡会への参加の可否など本会として方針を決めて行く段階に来たとのコメントがあった。周年事業の中でもテーマとして捉えている。

#### 2. 出版部会

##### 1) 以下の 2 件を承認した。

電子校閲システムについては J-STAGE のシステムを採用することで進める。

Web 時代の流れの中、これまで原本を「紙」としていたが今後「PDF」とする方向で検討する。

##### 2) 以下について報告があり了承した。

75 周年特集号の検討状況

論文投稿数の減少傾向の報告があった。要因として会員数減、インパクトファクター、掲載までのスピードなど考えられるが、対策を練って別途提案することとした。

専門委員会の講演会を材料に学会誌に論文特集号(校閲あり)を出すアイデアがあり、実現に向けて進めている。

#### 3. 広報・情報部会

以下の報告があり了承した。

大会中のオートデモを今回も実施するが、学会 Web 上でも公開して行く

NII と J-STAGE での本会の論文公開状況を整理して報告されたが、特集記事の J-STAGE での取扱いが今後の課題である。

サブドメイン、サブディレクトリの貸し出しルールを検討中

英文 Web ページはアクセス件数は 500 件以上 / 月で、その半数は海外であることが分かった。内容の改善を図る。

#### 4. 財務委員会

・ 第二四半期の収支状況が報告され、概ね平準的進捗であるが、収入の落ちている部分(会費、出版関係など)について注意が喚起された。

・ 予算/事業計画および決算/事業報告の今年度のスケジュールが報告された

・ 謝礼/講演料などの領収書について、銀行振込み票に替えることを可とすることが了承された。

#### 5. 周年記念事業実行委員会

各実行委員会からの企画提案、予算要求についての現状が報告された(審議は秋季大会中の委員会で行なわれる)。

6. 本部 WG[Web時代の学会のあり方 WG]

中間報告メモとして以下の視点で議論されていることが報告された。

- ・ 情報発信の活性化、受信者制約の開放 ・ 産業界との交流の場 ・ 会費依存からの脱却
- ・ 学会 Web 発信へのアクセス拡大のための外部コンサルも検討に入れる

議 事 4 賞審査委員会関連事項の件

今年度の精密工学会賞、技術賞の審査結果が報告され、それぞれ 2 件、3 件に贈賞することが承認された。あわせて、申し送り事項が報告された。

精密工学会論文賞、研究奨励賞、沼田記念論文賞、および高城賞について合同審査委員会を設置すること、および委員長、幹事の担当理事を承認した。あわせて、スケジュールが報告され了承された。

議 事 5 2007 年度フェロー選考委員会の設置および選考方針の件

以下について承認された。

- ・ 副会長を委員長とする委員会構成
- ・ 推薦規模の他は、従来の方針を踏襲する
- ・ 10/1 募集開始、11/15 同々切り、12/14 理事会承認、3/18 通常総会場で認定者発表のスケジュールを進める

議 事 6 次期役員・評議員候補者推薦の件

1. 役員および評議員選挙関連規定の改定

「秋季大会開催支部選出副会長の選任する方法を変えるため、関連規定を改定することが提案され承認された。今回の選挙から適用することも承認された。

2. 2008-2009 年度役員および評議員候補者の推薦

- ・ 候補者推薦委員会（委員長：会長）から、審議結果が報告され役員 30 名、評議員 98 名の候補者が承認された。
- ・ 使用される投票用紙および選挙関連日程が報告され了承された。

議 事 7 2007 年度秋季大会の件

大会期間中の会議の日程、会場の報告と関係者の出席要請がなされた。

議 事 8 その他

1. 表彰・助成推薦の件

第 40 回市村産業賞（11/9 学会々切り）

第 15 回日産科学賞（10/10 々切り）

2. 横断型研究プロジェクト提案募集（9 月末々切り）

2. 会員状況の件

7,8 月の入会：正会員；30 名、学生会員；34 名、及び賛助；1 社を承認し、退会：正会員；5 名、学生会員；13 名、賛助 3 社を確認した。